

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和08年01月20日

計画の名称	計画的な施設の改築更新による安全・安心なサービスの提供（防災・安全）																				
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）										重点配分対象の該当										
交付対象	豊田市																				
計画の目標	都市の浸水対策及び下水道施設のストックマネジメントを行うことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、災害に強いまちづくりを目指す。																				
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,793		A	3,793		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R8	R10	R12
1	ストックマネジメント計画に基づいた污水管路の点検調査実施率を42%（R8当初）から99%（R12末）に増加させる。			
	ストックマネジメント計画に基づいた污水管路の点検調査実施率	42%	82%	99%
	点検調査実施済みの管路延長（km）／点検調査を実施すべき管路延長（km）×100			
2	ストックマネジメント計画に基づいた污水施設の改築・更新実施率を0%（R8当初）から100%（R12末）に増加させる。			
	ストックマネジメント計画に基づいた污水施設の改築・更新実施率	0%	62%	100%
	改築・更新を実施済みの施設（機器）／改築・更新を実施すべき施設（機器）×100			
3	耐水化計画に基づいた対象施設の対策実施率を0%（R8当初）から100%（R9末）に増加させる。			
	耐水化計画に基づいた対象施設の対策実施率	0%	100%	100%
	対策実施済みの対象施設（箇所）／対策を実施すべき対象施設（箇所）×100			
4	雨水貯留施設等設置基数を0%（R8当初）から100%（R12末）に増加させる。			
	雨水貯留施設等設置基数	0%	60%	100%
	雨水貯留施設等の設置済数（基）／雨水貯留施設等の設置計画数×100			
5	污水マンホール蓋の改築・更新実施率を52%（R8当初）から100%（R9末）に増加させる。			
	污水マンホール蓋の改築・更新実施率	52%	100%	100%
	改築・更新が行われているマンホール蓋数（箇所）／改築・更新すべきマンホール蓋数（箇所）×100			
6	市内ハイセラミック管の緊急度Ⅱ割合を88%（R8当初）から39%（R12末）に減少させる。			
	市内ハイセラミック管の緊急度Ⅱ割合	88%	55%	39%
	市内ハイセラミック管の緊急度Ⅱ延長（km）／市内ハイセラミック管延長（km）×100			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																									
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況						
																		R08	R09	R10	R11	R12			
		一体的に実施することにより期待される効果																							
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	管路施設 点検、調査 L= 3 20km	豊田市	■	■	■	■	■	407		策定済						
		ストックマネジメント計画																							
	A07-002	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	ポンプ 場	改築	下水道（汚水）施設改築	汚水施設設備更新 N= 70機 器	豊田市	■	■	■	■	■	251		策定済						
		ストックマネジメント計画																							
	A07-003	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	ポンプ 場	改築	下水道（汚水）施設耐水 化	汚水ポンプ場耐水化 N= 2か 所	豊田市	■	■				338		策定済						
		耐水化計画																							
	A07-004	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	－	新設	雨水貯留施設等設置	雨水貯留施設等設置補助 N= 20基	豊田市	■	■	■	■	■	5		－						
		新世代下水道支援計画																							
	A07-005	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 汚水）	改築	下水道（汚水）マンホー ル蓋改築	管路施設（マンホール蓋）改 築 N= 82か所	豊田市	■	■				36		策定済						
		ストックマネジメント計画																							
A07-006	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	管路施設（ハイセラミック管 ）改築 L= 22.9km	豊田市	■	■	■	■	■	2,486		策定済							
	ストックマネジメント計画																								
										小計						3,523									

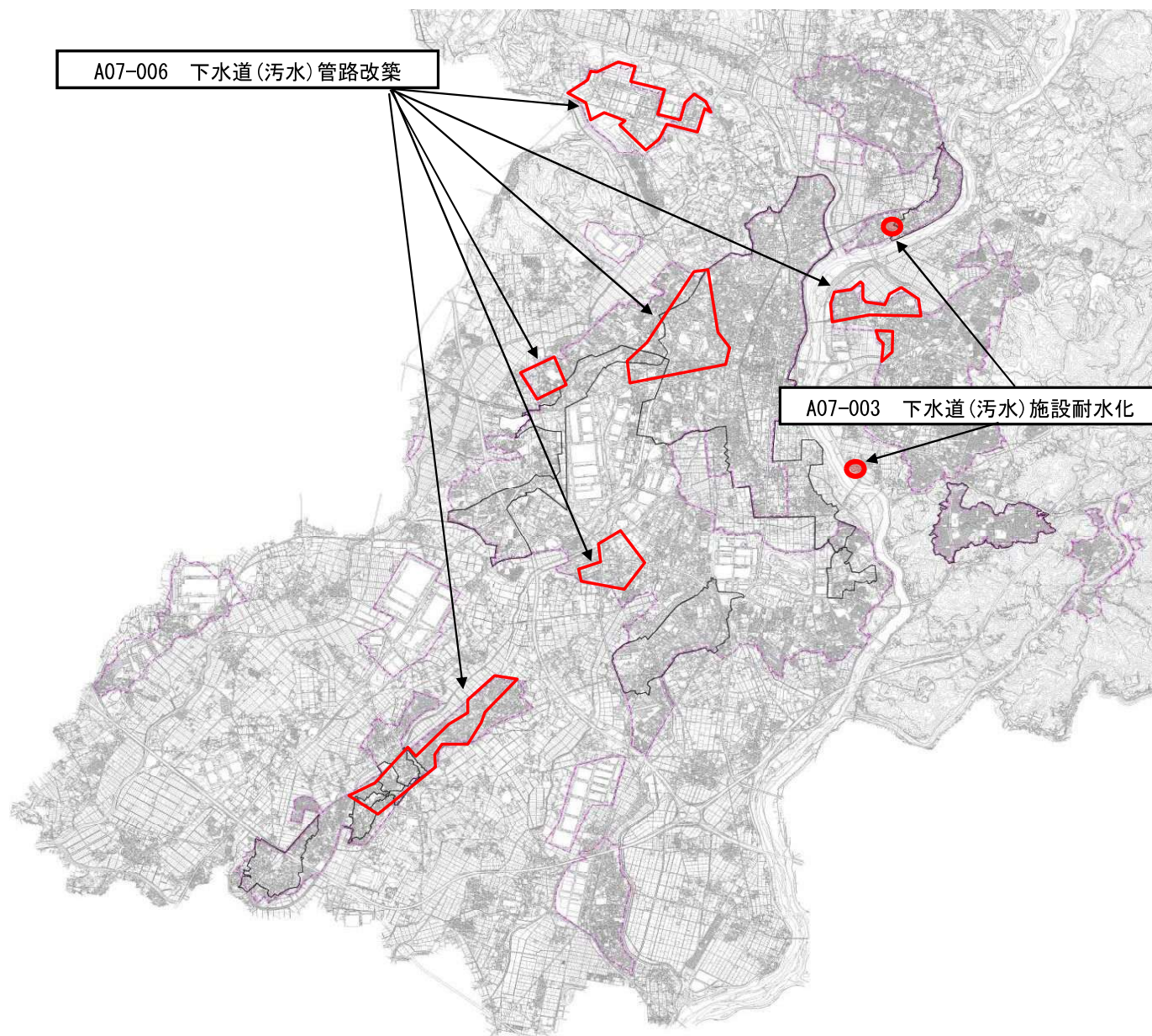
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						3,793		

事前評価チェックシート

計画の名称： 計画的な施設の改築更新による安全・安心なサービスの提供（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画（知多湾等流域別下水道整備総合計画、全県域汚水適正処理構想）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 豊田市公共下水道事業計画（矢作川・境川流域関連、特定環境保全）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関連する他事業の計画と適合している。関連する他事業（矢作川・境川流域下水道、境川・猿渡川流域水害対策計画）	○
I. 目標の妥当性 各種事業計画が策定され、適合している。各種事業計画（ストックマネジメント計画、上下水道耐震化計画、新世代下水道支援事業、耐水化計画）	○
I. 目標の妥当性 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○

計画の名称	計画的な施設の改築更新による安全・安心なサービスの提供（防災・安全）		
計画の期間	令和8年度 ～ 令和12年度（5年間）	交付対象	豊田市



A07-006 下水道(汚水)管路改築

A07-003 下水道(汚水)施設耐水化

A07-004 雨水貯留施設等設置

<事業計画区域内>

- ・浄化槽雨水貯留施設転用

<全体計画区域内>

- ・雨水貯留浸透施設設置

全域

A07-001 下水道(汚水)管路改築(点検・調査)

A07-002 下水道(汚水)施設改築

--- 下水道法による事業計画区域

--- 市街化区